

10
月号

第一地区地域だより

都市計画課からの
お知らせ



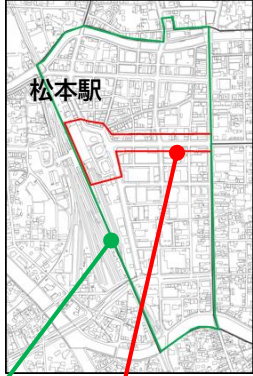
中心市街地の再設計を実現する ～デザインコード～



- 中心市街市再設計検討会議（令和6年度）の提言を受け、松本市は「えきまえエリアビジョン」を策定しています。
- えきまえエリアビジョンでは、「パブリックライフ（まちのなかで過ごす豊かな時間や人との関わり）」の充実を目指しています。

デザインコードとは・・・？

えきまえエリアビジョンを実現するための手引きとして「デザインコード」を策定しています。これまでの「色」や「素材」などの景観の基準に加え、パブリックスペース（まちなかで自由に過ごせる公共的な空間）の作り方や使い方をまとめた、中央西地区のまちづくりの対話の指針です。



策定中

【空間の作り方】



【空間の使い方】



中央西地区

屋外広告物条例見直し範囲

こちらも検討中

■松本市屋外広告物条例の見直し（駅前+あがたの森通りの一部）
建物に掲示できる広告の範囲を見直し、検討中の補助事業と合わせて、駅前の景観をもっと魅力的に整えていきます。

	屋上広告物	袖看板	屋内広告物
現状			制限なし
変更案	設置禁止	1事業所1基まで 10m以内	屋外広告物と同様の扱いとします

問合せ先 松本市建設部都市計画課（景観担当） 電話 34-3015

在宅避難のキホンと応急給水体験

ふれあい健康教室

災害時、必ずしも避難所に行くとは限りません。
住み慣れた自宅で安全に過ごす「在宅避難」のポイントを学びます。
給水車による「応急給水体験」も同時開催！「もしも」を「いつも」の備えに変える90分。ぜひご参加ください。



↑給水車↑

日時 10月23日（金）13：30～
場所 Mウイング4階 4-4会議室
第二部は分銅町公園へ移動
定員 30名（要申込）※地区の方優先
申込先 第一地区福祉ひろば

※小雨決行・荒天の場合は室内講義に振替えます。
日赤奉仕団第一分団・地域づくりセンター・福祉ひろば共催

- 【内容】
- <第一部>
- ・講義「在宅避難のキホン」
- ・講師：松本市社会福祉協議会 西澤久典さん
- <第二部>
- ・体験「給水車からの応急給水訓練」
- ・協力：市上水道課
- ・※リュック型非常用給水袋お持ち帰り

お知らせ：9月30日（水）13：45～15：00 エクセラン高校3年生の皆さんが駅前周辺のゴミ拾いを行います。